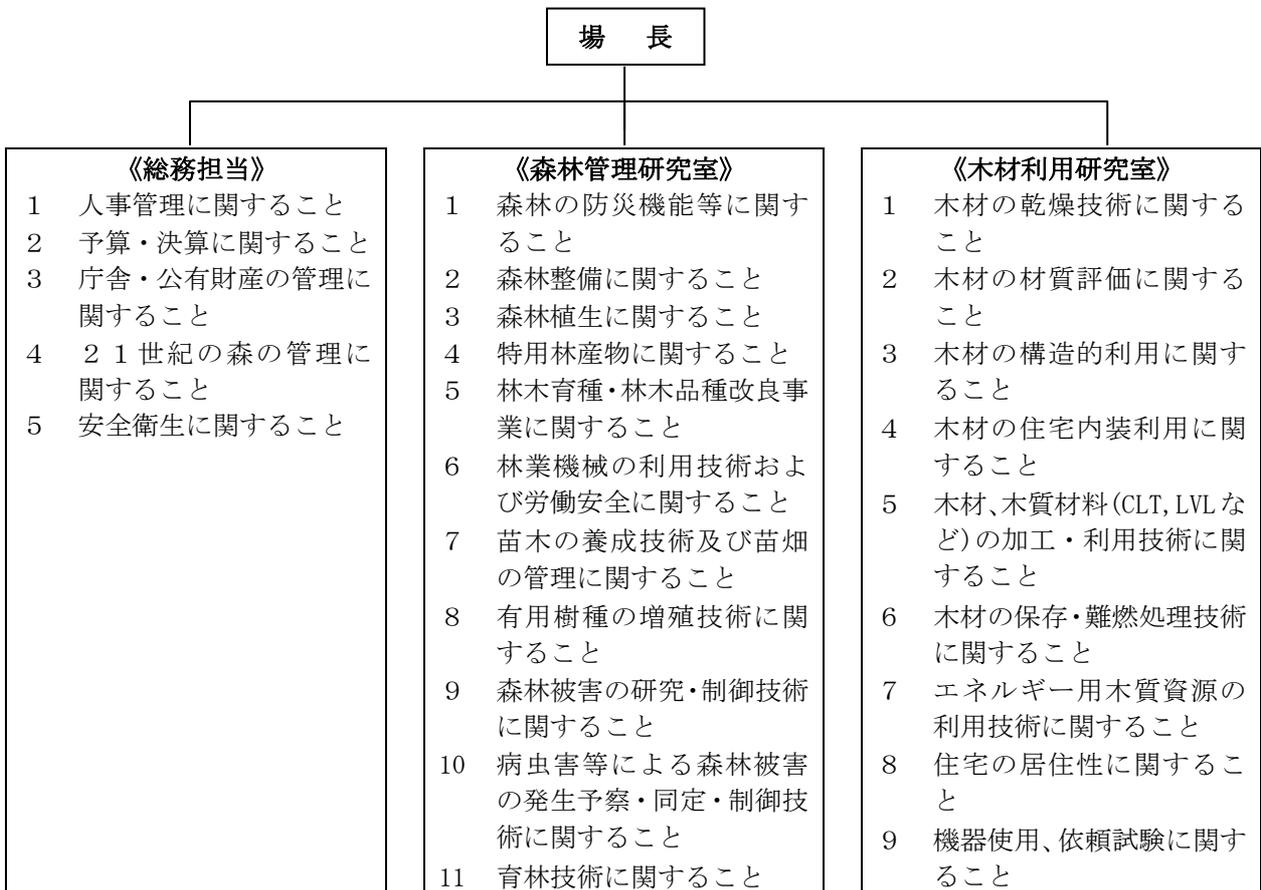


I 沿革

- 昭和30年9月 鳥取市立川町6丁目(旧練兵場跡地)に鳥取県林業試験場(庶務係・施業部・改良部の3部制)として開場する(全国で21番目の公立林業試験場)。
- 昭和34年4月 施業部を経営部に、改良部を造林部に改称する。
- 昭和37年9月 部制を科制に改称し、1係2科制となる。
- 昭和45年4月 係制を課制に改称し、総務課、経営科、造林科の1課2科制となる。
- 昭和50年4月 林木品種改良事業を造林課より当場に移管する。
- 昭和51年4月 育種科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科の1課3科制となる。
- 昭和55年4月 保護科を新設し、総務課、経営科、造林科、育種科、保護科の1課4科制となる。
- 昭和55年6月 林業試験場を八頭郡河原町稲常(現鳥取市河原町稲常)へ新築移転する。
- 平成7年4月 科制を室制に改称し、総務課、森林造成研究室、林業生産研究室、森林管理研究室木材加工研究室の1課4室制となる。
- 平成7年10月 木材加工研究棟を新設。
- 平成17年4月 森林管理研究室、木材利用研究室の2研究室制となる。
- 平成18年4月 農林水産部内に農林総合技術研究院が新設され、総務課が総務普及課となる。
- 平成20年4月 農林総合技術研究院が農林総合研究所となり、林業試験場は農林総合研究所林業試験場となる。併せて総務普及課が農林総合研究所企画総務部に統合される。
- 平成26年4月 農林総合研究所体制の再編。各試験場は本庁所管課の地方機関とされ、林業試験場は農林水産部林政企画課の傘下となる。
- 平成29年3月 「とっとり林業技術訓練センター『愛称：Gut Holz』」新設。
- 平成30年3月 「木材環境研究棟」新設。
- 平成31年4月 とっとり林業技術訓練センター、木材技術工芸実習館、森林学習展示館の管理が指定管理者に移行。
- 令和4年3月 全天候型実習施設設置。

II 機構 (令和6年4月1日現在)

1 組織・主な業務



2 職員数

(1) 職員配置状況

(令和6年4月1日現在)

区分 課・室名	事務 職員	技術 職員	現業 職員	計	会計年度 任用職員	備考
場長		1		1		
総務担当	1			1	2	
森林管理研究室		6		6	10	
木材利用研究室		5		5	2	
計	1	12		13	14	

(2) 職員一覧表

(令和6年4月1日現在)

課・室名	職名	氏名
	場長	上月光則
総務担当	課長補佐	柿本浩和
森林管理研究室	室長	池本省吾
	上席研究員	矢部浩
	主任研究員	柴田寛
	主任研究員	三浦功次
	研究員	赤井広野
木材利用研究室	研究員	園田茉央
	室長	高力優
	上席研究員	桐林真人
	主任研究員	森田浩也
	主任研究員	佐々木裕介
	研究員	岡本瑞輝